



2015年3月期 決算説明会

2015年5月15日（金）
新電元工業株式会社

Agenda

1. 開 会

2. 決算説明

**取締役 常務執行役員
荒幡 義光**

3. 高収益かつ規模の拡大を目指して

**代表取締役社長
森川 雅人**

4. 質疑応答

5. 閉 会

決算説明

取締役 常務執行役員
荒幡 義光

決算説明

- **前期決算内容**
- **当期の見通し**

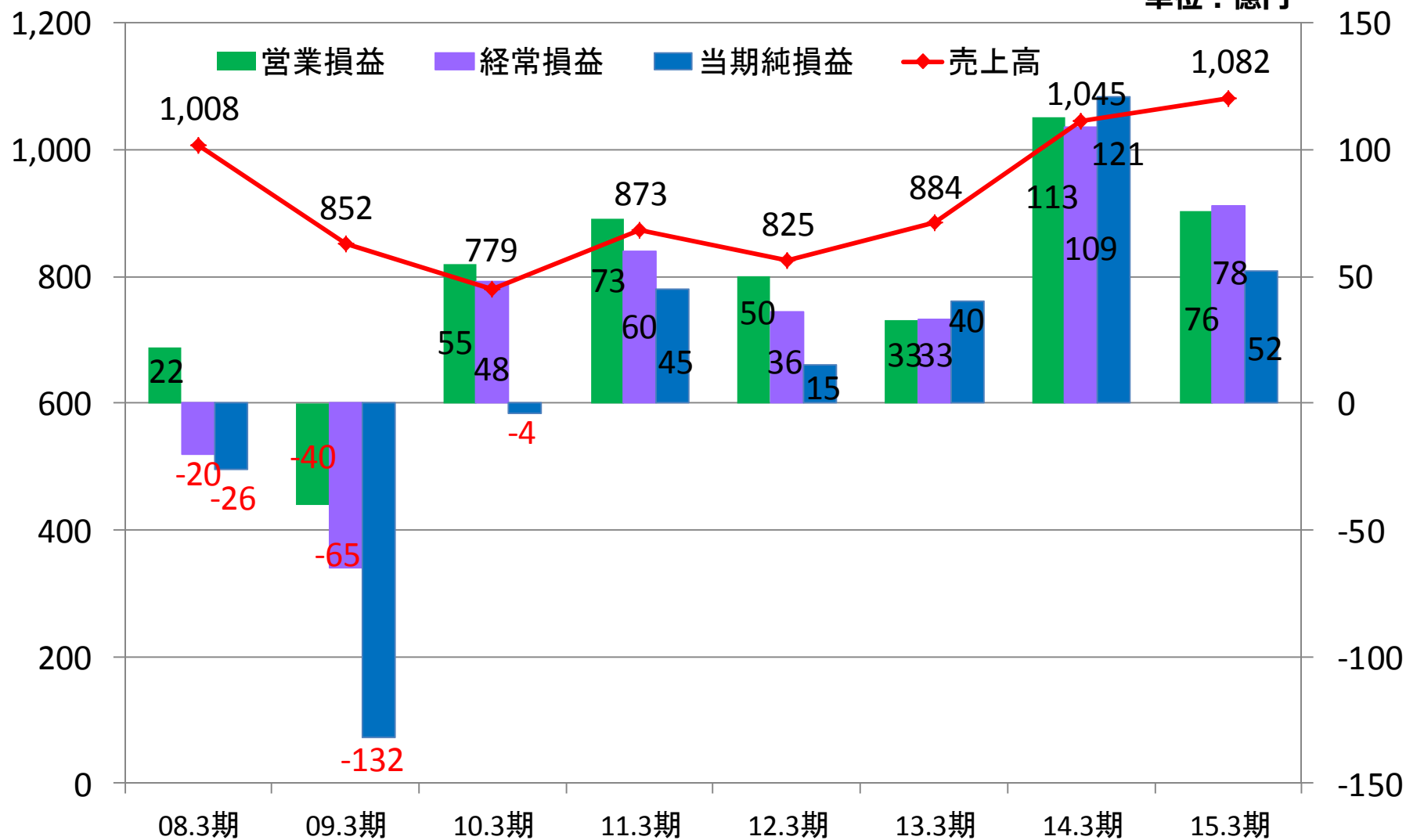
前期（2015年3月期）決算内容

■ 連結業績推移

<売上高>

<利益>

単位：億円



単位：億円

■ 連結業績

	2014年3月期	2015年3月期			増減率
		上期	下期	通期	
売上高	1,045	504	578	1,082	3.5%
営業利益	113	47	29	76	▲32.2%
経常利益	109	45	33	78	▲28.3%
当期純利益	121	29	22	52	▲56.7%

- モビリティ分野を中心に概ね堅調に推移
- 円安効果が寄与
- 積極的な設備投資、研究開発活動による費用増
- 新エネルギー製品の一部、点検・保守作業等の実施に伴う発生費用見込額計上

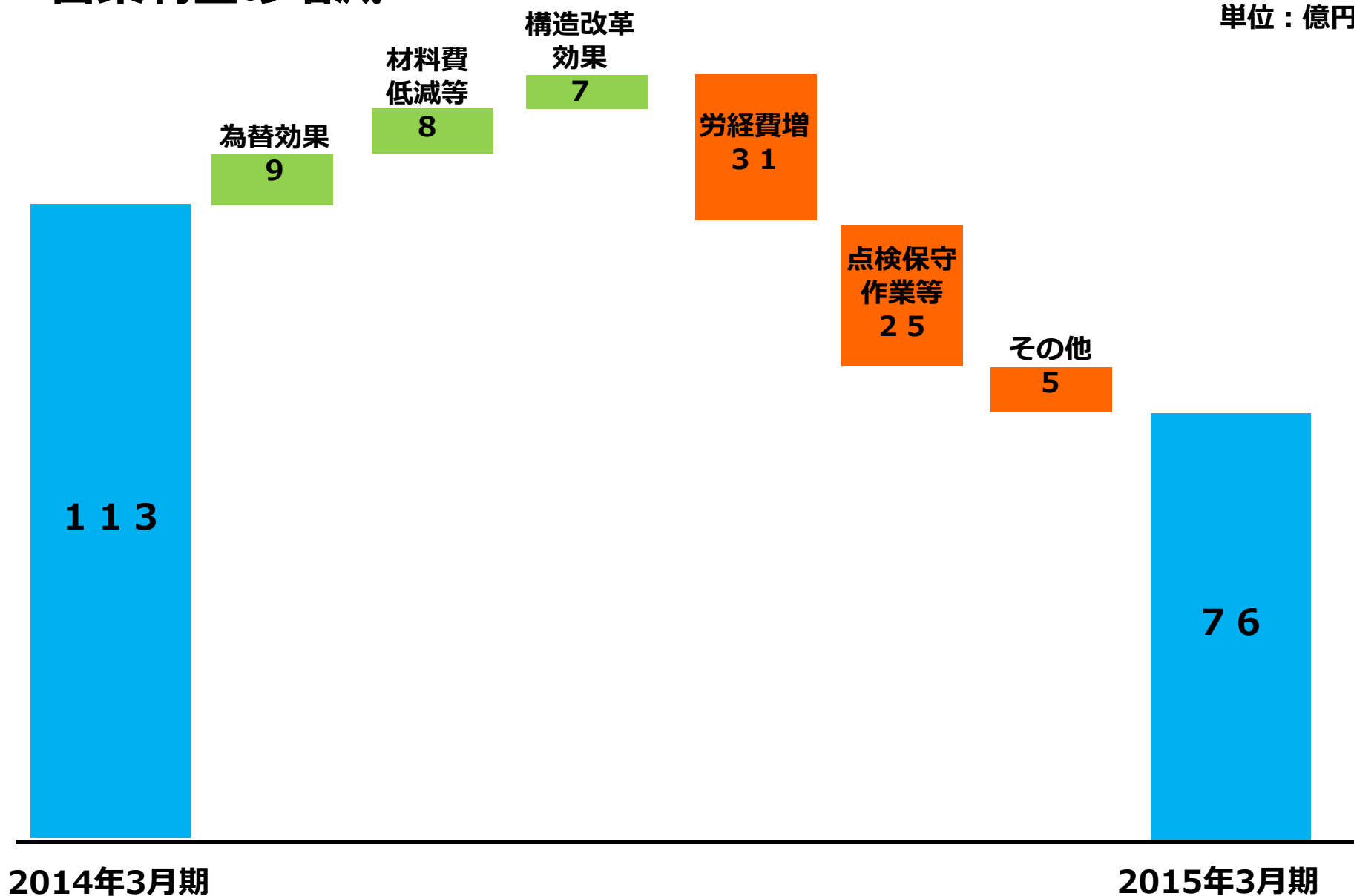
単位：億円

■セグメント別連結業績推移

		2014年3月期	2015年3月期	増減率
売上高	デバイス	369	383	3.9%
	電装	422	459	8.9%
	新エネルギー	265	257	▲3.2%
	その他	31	32	5.6%
	調整額	▲43	▲51	—
	合計	1,045	1,082	3.5%
営業利益	デバイス	42	41	▲2.6%
	電装	73	65	▲11.1%
	新エネルギー	23	▲0	—
	その他	0	0	▲3.3%
	調整額	▲26	▲30	—
	合計	113	76	▲32.2%

- デバイス需要、産業機器市場向け堅調に推移、内部販売も増加
- 二輪車市場、ASEAN地域のFI化進む、ECU(電子制御ユニット)増加
- 新エネルギー、製品点検作業等の一時費用の計上により減益

■ 営業利益の増減



単位：百万円

■ 経常利益・当期純利益

	2014年3月期	2015年3月期	増減比
営業利益	11,313	7,673	▲32.2%
営業外収益	1,255	1,668	32.9%
（為替差益）	207	798	284.0%
営業外費用	1,608	1,480	▲7.9%
経常利益	10,960	7,861	▲28.3%
特別利益	453	0	—
特別損失	38	0	—
法人税等	3,776	2,739	▲27.5%
法人税等調整額	▲4,530	▲130	—
当期純利益	12,129	5,252	▲56.7%

- ・ 経常利益 : 円安進行、為替差益798百万円を計上
- ・ 特別利益 : 前期、タイ洪水に伴う、受取保険金を計上
- ・ 当期純利益 : 前期、繰延税金資産計上に伴い法人税等調整額▲45億円計上

■ 純資産推移（連結）

単位：百万円

		2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
純資産	資本金	17,823	17,823	17,823
	資本剰余金	9,009	7,738	7,738
	利益剰余金	12,652	24,333	27,747
	自己株式	△114	△118	△123
	株主資本合計	39,371	49,776	53,185
	その他の包括利益累計額	375	△113	3,478
	計	39,746	49,662	56,664
総資産		118,700	132,823	134,002
自己資本比率		33.5%	37.4%	42.3%

当期（2016年3月期）の見通し

■ 連結業績見通し

単位：億円

	2015年3月期	2016年3月期（見通し）			増減率 （通期）
		上期	下期	通期	
売上高	1,082	527	563	1,090	0.7%
営業利益	76	42	53	95	23.8%
経常利益	78	41	52	93	18.3%
（親会社株主に帰属す） 当期純利益	52	28	35	63	19.9%

- 二輪車市場向け、自社製デバイス搭載 ECU の新商品投入
- 新エネルギー、蓄電システム等ラインアップ拡充
- 積極的な設備投資、研究開発進める

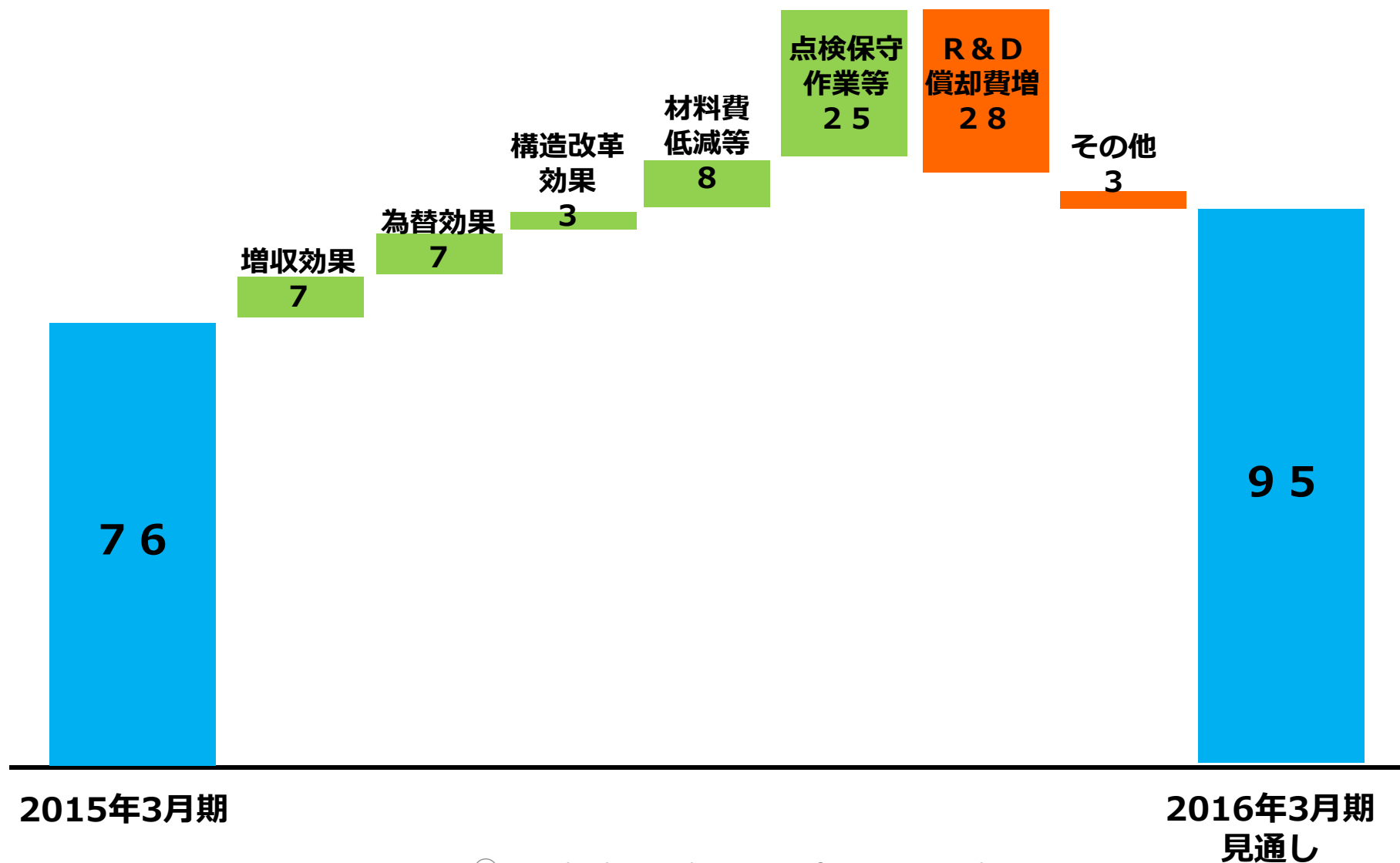
■セグメント別連結業績見通し

		2015年3月期	2016年3月期 見通し	増減率
売上高	デバイス	383	417	8.6%
	電装	501	518	3.3%
	新エネルギー	215	186	▲13.8%
	その他	32	34	3.8%
	調整額	▲51	▲65	—
	合計	1,082	1,090	0.7%
営業利益	デバイス	41	40	▲2.7%
	電装	65	74	12.1%
	新エネルギー	▲0	16	—
	その他	0	0	—
	調整額	▲30	▲35	—
	合計	76	95	23.8%

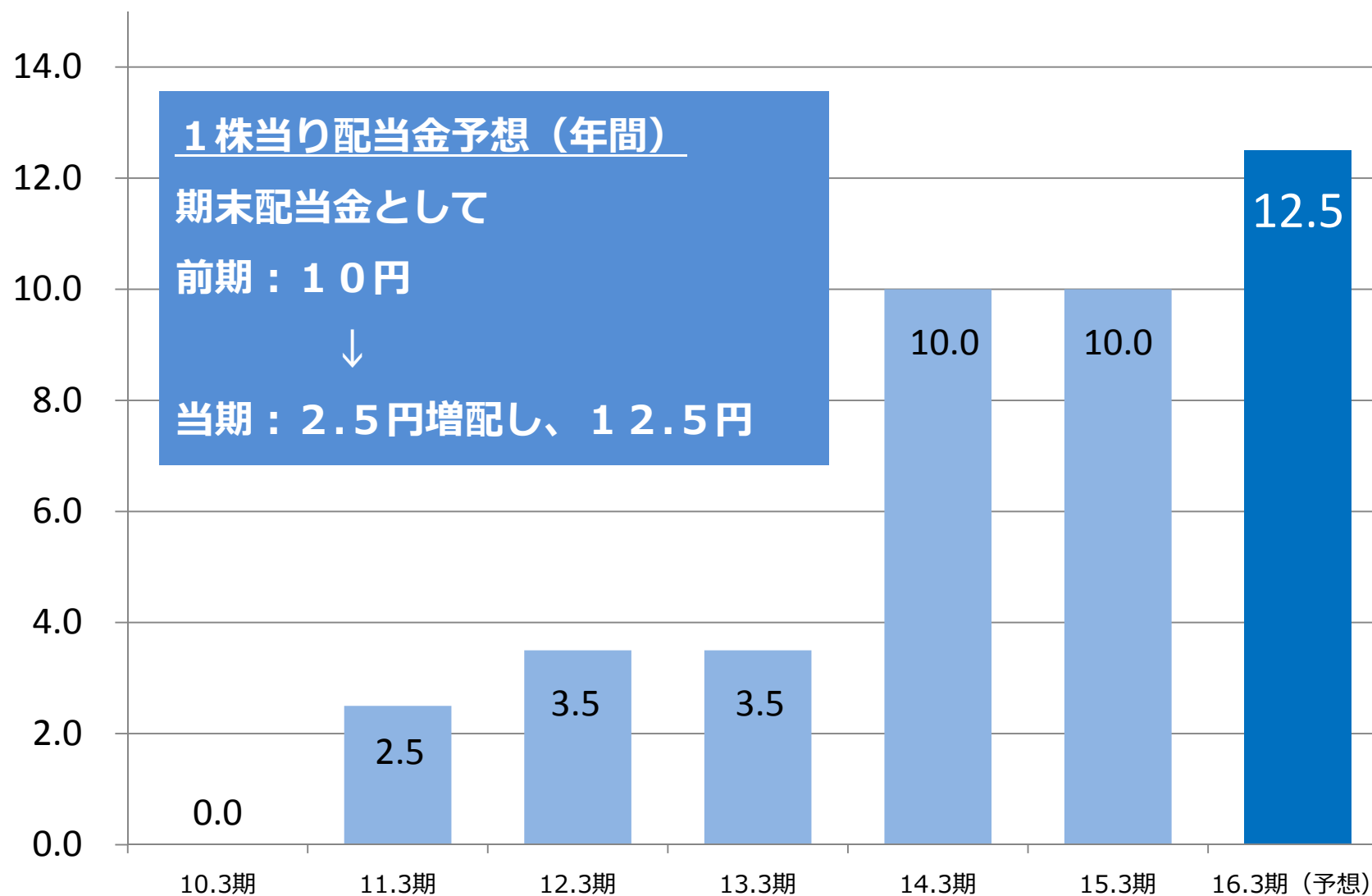
- 半導体需要、外販、内販とも増加見込む。将来に向けた設備投資・研究開発進める
- 二輪車市場、F I 化とインド市場の拡大がドライバー、増産投資も継続
- 蓄電関連製品の増加見込む、構造改革効果、点検等一時費用がなくなり増益

※新エネルギー事業であった一部製品を電装事業に移管しています。15.3期の実績は、組替後の数値を記載しております。

■ 営業利益の増減（見通し）



■ 配当予想について





「エネルギーの変換効率を
極限まで追求することにより、
人類と社会に貢献します。」

2016年3月期の業績見通しは、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとはことなる結果をなす可能性があります。